

「褥瘡外来の実態調査」へご協力をお願い

東京歯科大学市川総合病院皮膚科において褥瘡外来の実態調査の研究を行っております。ご理解・ご協力のほどお願いいたします。

1. 研究の目的や意義について

褥瘡（とこずれ）は脳梗塞などで神経が麻痺したり、敗血症などの重度の感染症や悪性腫瘍などにより全身が衰弱し、寝返りが打てなくなるなどして体の重さにより骨がでていける部分などに長時間圧迫が生じ、その部分の皮膚が壊死（死んでしまう）となる疾患で、高齢化に伴い患者さんの数が増えています。褥瘡では単に傷を治療するだけでなく、原因となった圧迫やずれを解消したり、栄養状態を良くする必要があります。そのため、当院皮膚科では2015年10月より皮膚科医と皮膚排泄ケア認定看護師が同時に診察し治療に当たる褥瘡外来を開設し、既に50名以上の患者さんを診療しています。この外来開設5年を迎えるにあたり、褥瘡外来を受診された患者さんのもともともっている病気の特徴、褥瘡の発生場所（在宅あるいは介護施設、病院など）、褥瘡の特徴、褥瘡の治療成績などを振り返り、地域において当院が褥瘡対策で、どのようなことが求められているか？褥瘡外来の改善すべき点を明らかにします。

2. 研究の対象者について

対象は東京歯科大学市川総合病院皮膚科において2015年10月より2020年9月30日までに褥瘡外来を受診した褥瘡患者さんです。

ただし、当院で1ヶ月にも満たない短期間あるいは1-2回しか来院せず、治療経過などが明らかでない患者さんは対象外です。

また、研究の対象となることについてご了承いただけない場合は対象とはいたしませんので、お申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。ただし、研究の対象となることについてお断りの申し出があっても、既に研究が終わってしまっている場合は応じられない可能性があることをご了承ください。

3. 研究の方法について

この研究を行う際は、診療録より以下の情報を取得します。

〔取得する情報〕年齢、性別、基礎疾患（褥瘡発症に関与するもの）、診療の依頼元（病院、クリニック、介護施設など）、褥瘡が発生した場所（自宅、施設、病院、デイサービスなど）、褥瘡発症部位、来院時の褥瘡の評価（大きさ、深さ、感染、壊死などやDESIGN（褥瘡学会で考案された創の重症度を点数化するものです）、主な発症原因

(例：長時間座位、低栄養など)、発症から受診までの期間、外科的処置（局麻下、全麻下）の有無、保存的局所治療の内容、栄養指導、スキンケア指導、体圧分散、ポジショニングなどの指導内容、外来での改善点、地域の医療機関や一般市民に啓蒙すべきと考えられる内容

4. 個人情報の取扱いについて

研究対象者となる患者さんのカルテの情報をこの研究に使用する際には、研究対象者のお名前、カルテ番号の代わりに研究用の番号を付けて取り扱います。研究対象者と研究用の番号を結びつける対応表のファイルにはパスワードを設定し、インターネットに接続できないパソコンに保存します。このパソコンが設置されている部屋は、入室が管理されており、第三者が立ち入ることはできません。また、この研究の成果を学会や論文に発表する予定ですが、その場合は研究対象者が特定できる情報を使用することはありません。

5. 試料や情報の保管等について

この研究において得られた研究対象者の情報はこの研究のために使用し、研究終了後は5年間保存した後、研究用の番号も消去し、廃棄します。

6. 利益相反について

本研究に関する必要な経費は皮膚科の講座研究費でまかなわれます。研究遂行にあたって特別な利益相反状態にはありません。

7. 研究に関する情報や個人情報の開示について

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報および知的財産の保護に支障がない範囲で、この研究の研究計画書や研究の方法に関する資料、結果についてご覧いただくことができます。資料の閲覧を希望される方は、ご連絡ください。

8. 研究の実施体制について この研究は以下の体制で実施します。

研究代表者：皮膚科 教授 高橋慎一

研究分担者：皮膚科 講師 河野通良

看護部 主任 宮台七重

9. 倫理審査委員会の承認 この研究は東京歯科大学市川総合病院倫理審査委員会の審査承認および病院長の許可を得て実施しております。

10. 問い合わせ先 ご質問および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

〒272-8513 千葉県市川市菅野 5-11-13 東京歯科大学市川総合病院

研究責任者 皮膚科 高橋慎一

電話：047-322-0151